

- ◎ 発行：富士見台地区協議会
- ◎ 発行責任者：武藤貴子
- ◎ 連絡先：調布市協働推進課
042-481-7036
- ◎ 発行日：令和4年3月

小学生の皆さんへ 災害の時に、一番大切なことは 自分の命を守ることです！

家族の皆さんで読んでください。

地震、津波、洪水、土石流、高潮、火山噴火、竜巻、火災など、私たちの身の回りには自然災害の危険がたくさんあります。災害が起こった時に、一番大切なことは、皆さんの自分自身の命を守ることです。

まずは、私たちの住む調布でも大きな被害が出ると想定されている、洪水について考えてみましょう。

地震と洪水では、起こる時の様子がまったく異なります。

<地震と洪水の起こる状況の比較>

	いつ起こるか	どこで起こるか
地震	突然	どこでも起こる
洪水	大雨が降ると	場所によって危険度が異なる

<それぞれの特徴>

地震・・・①突然起こります。いつ起こるかの確実な予測はできません。

前もって警報なども出ません。

②市内のどこでも同じように起こります。

洪水・・・①大雨が降ると起こります。台風などで大雨が降る時には、事前に天気予報などで情報が伝えられ、危険が近づくと判断されれば、注意報や警報、警戒情報、危険情報などの情報が出されます。

②市内でも浸水しやすい場所や浸水する水の深さが異なります。その想定は、「調布市 洪水ハザードマップ」に示されています。

③自分の住んでいる家が木造の建物か鉄筋の建物か、またその何階に住んでいるのかで、避難のしかたも異なります。

洪水に備えて!

備えは、自分の家の危険度を知り、 気象情報のいろいろを知ること

1. 洪水は場所ごとに危険度が違う。調布市内については、現在予想される最も激しい雨が降った場合に起こると考えられる洪水の状況を、5つの地域に区分して「調布市洪水ハザードマップ」に示されている。自分の住む家がどの様な地域か家族で調べておく。

地域	浸水想定深 (想定される最も激しい雨が降った時に 想定される地面から水面までの高さ)	洪水ハザードマップで 示されている地域の色
①	5m~10m浸水する地域 (4階床上まで浸水する程度)	こい青色
②	3m~5m浸水する地域 (2階の天井近くまで浸水する程度)	青色
③	50cm~3m浸水する地域 (2階の床下まで浸水する程度)	うすい青色
④	50cmまで浸水する地域 (1階の床まで浸水する程度)	黄色
⑤	浸水が想定されない地域	上塗り無し

2. 大雨が予想されると様々な気象情報がニュースや天気予報で伝えられます。これらの意味についても知っておく。

情報の名前	警戒レベル	危険地域の人ができるべき行動
大雨特別警報	5	災害が起こっているか、直ぐに起こりそう。 危険地域に残った人は命を守る行動を!
氾濫発生情報		
氾濫危険情報	4	全員が避難する。
洪水警報	3	高齢者や子供などは避難を開始する。 その他の人も避難をする方が良い。
氾濫警戒情報		
氾濫注意情報	2	避難先や避難経路を確認し、避難の準備 をする。
大雨注意報・洪水注意報		
早期注意情報	1	洪水災害の発生を考え、心の準備をする。

3. ①から④の地域に住む人は、洪水時の避難場所を家族で決めておく。⑤の地域に親戚や知っている人の家があれば、事前に避難を相談しておく。それが無ければ、富士見台小学校は②、③の地域にあるので、⑤の地域にある避難所の「グリーンホール」や「たづくり」へ避難する。避難する道をあらかじめ調べて、前もって歩いてみる。緊急時に避難ができるような近所の高いビルなどの建物も調べておく。

調布市洪水ハザードマップ(富士見台地区)



上の図は、「調布市 洪水ハザードマップ」(令和2年9月改訂)から富士見台小学校の学区とその周囲を抜き出して表示しています。少し拡大していますので、鮮明でない部分がありますがご了解ください。

大雨・洪水の気象情報が出たら！

<学校にいる時には>
先生の指示に従う。

<家にいる時には>

1. 調布市に、大雨、洪水の早期注意情報（警戒レベル1）が出たら、

すべての人	以降は大雨や洪水などになる可能性があるので、外にいれば自宅に戻り、天気予報やニュースに注意して過ごす。
-------	---

2. 氾濫注意情報、洪水注意報、大雨注意報（警戒レベル2）が出たら、

①②③④の地域の人	避難の準備をする。 どこへ避難するか、どの道を通るかを、家族と確認する。一人だけや子供だけの場合には、できれば家族に連絡し避難することを伝える。避難場所が決まっていなければ、「グリーンホール」か「たづくり」への避難とする。
⑤の地域の人	自宅で待機し、ニュースや天気予報により状況を確認する。 以降も、この地域の人には自宅にとどまり、その後の情報に注意する。

3. 氾濫警戒情報、洪水警報（警戒レベル3）が出たら、

①②③④の地域の人	家族と避難を始める。出会った近くの人にも避難を呼びかける。 雨などが激しくて、決めていた避難場所へ行くことが難しければ、近くのマンションなどの高いビルの5階以上に避難する。自宅が高いビルの5階以上であれば、自宅にとどまる。 家族と連絡がとれずに、一人だけや子供だけの場合にも避難を始める。
-----------	--

4. 氾濫危険情報（警戒レベル4）が出たら

①②の地域の人	まだ避難を始めていなければ、すぐに避難する。 雨などが激しくて、決めていた避難場所へ行くことが難しければ、近くのマンションなどの高いビルの5階以上に避難する。自宅が高いビルの5階以上であれば、自宅にとどまる。
③④の地域の人	まだ避難を始めていなければ、すぐに避難する。 雨などが激しくて、決めていた避難場所へ行くことが難しければ、自宅の3階以上、自宅に3階以上がなければ近所の家の3階以上に避難する。

5. 氾濫発生情報（警戒レベル5）が出たら

①の地域の人	急いで近くのマンションなどの高いビルの5階以上に避難する。自宅が高いビルの5階以上であれば、自宅の5階以上にとどまる。
②③の地域の人	急いで近くのマンションなどの高いビルの3階以上に避難する。自宅が3階以上であれば、自宅の3階以上にとどまる。
④の地域の人	あわてずに、自宅の2階以上にとどまる。自宅に2階以上がなければ近所の建物の2階以上に避難する。